



作成日：2024年7月1日

## 支援プログラム



### 事業所における基本情報

事業所名	社会福祉法人 京都基督教福祉会 児童発達支援 ののはな教室
事業所の理念	子どもたちのすこやかな発達を、保護者と地域とともに見守る
支援方針	発達の様々な面で弱さやつまずきがある子ども達が、自分らしくいられる中で持っている力を十分に発揮できるための支援をおこなう。 保護者・地域の関係機関と共に、親子が安心して過ごせるための手立てを共に考える支援の輪を繋ぐ役割を果たす。
受け付け及び 営業時間 サービス提供時間	月曜日～金曜日（国民の祝日、12月29日～1月3日までを除く） 8：25～17：10まで 8：30～16：00
送迎の有無	無

### 支援内容

「PDCAサイクル」呼ばれる、「PLAN（個別支援計画）」→「DO（プログラムの実践）」→「CHECK（プログラム実施後の見直し）」→「ACTION（改善・対策）」の流れを定期的に行います。

児童発達支援ののはな教室は、令和6年4月1日より、以下の5領域について個別支援計画を作成し、個人ごとの児童発達支援プログラムを作成しています。

#### \* 健康・生活

健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援方法を考えます。睡眠、食事、排泄を身につける方法（感覚、咀嚼、姿勢保持等）に繋がるように、あそびの中で環境を工夫して支援します。

#### \* 運動・感覚

運動機能、バランス感覚、調整力、様々な体の感覚・感触に触れ、使い勝手が良く、疲れにくく、自分の思いを叶える（自己実現）ための体づくりを支援します。また、気持ちと体は連動しています。セルフコントロールの力を育てます。

#### \* 認知・行動

発達、性格、興味関心等に合わせて、支援方法と環境（人的・物理的環境の工夫）を考えます。家庭と通園先で経験し難いことを、療育の小集団であれば「ちょっとやってみよう」と小さなチャレンジに繋がるように支援します。

## \* 言語・コミュニケーション

コミュニケーションのベースである、コミュニケーションマインドを育てます。

おとなに伝えれば必ず良いことがあるという気持ちの経験を積み重ねるために、PECS（絵カードを使ったコミュニケーションの交換システム）等、発達に合わせたコミュニケーションツール、スキルを知ることや、小集団でのあそびを通して、コミュニケーションは楽しいと感じられる支援をします。

## \* 人間関係・社会性

小集団でのあそびを通して、ソーシャルスキル（うまく人と付き合うための術）を取り組みます。おとなは心地よい存在、困った時に助けてくれる存在。仲間意識を育てる等、人への芽生えを丁寧に育てるように支援します。言語・コミュニケーションの力にも繋がります。

## 家族支援（きょうだいへの支援を含む）

保護者の皆さんとともに、お子さんの発達を考え、喜び、育てていくことを大切にしています。

必要に応じてお子さんの様子を共有し、家庭訪問・個別の時間・グループでの相談援助を行います。

また、ごきょうだいについても、家族の一員であり、大切なお子さんですので、相談対応を行っています。

## 移行支援

全ての子ども達が共に成長できるよう、可能な限り地域の保育等、お子さんに合った環境の中で同年代の子ども達との関わり・経験・育ちができるように考えています。

そのために、関係機関と連携を行い、お子さんと保護者の皆さんが安心して次のステージに繋がるように支援します。

## 地域支援・地域連携の内容

ののほな教室だけではなく、通園先の先生方などお子さんを通して関わる人や地域とも、支援の輪を繋げていきたいと考えています。必要に応じて、通園先など関係機関と連携（訪問等）を行い、先生方と一緒に、そして保護者の皆さんとも共有しながら、地域の中でお子さんをご家族が安心して生活できるように取り組んでいます。

## 職員の質の向上に資する取り組み

法人・事業所内の研修、自己研鑽を積むためにも外部研修への派遣等に取り組んでいます。

## 主な行事等

講演会

- ・京都市教育委員会「京都市の総合育成支援きょういくについて」（年長児保護者対象）
- ・「放課後等デイサービスについて」

法人主催

- ・ぶどう祭

